

地域開発ブームにあけくれたこの数年の流れも、社会資本（公共投資）の充実がともなわないという現実に直面し、さらに民間投資の縮少に患されて、先走ったものは資金破たんになやまされ、乗り遅れたものはほっとしているという妙な情勢があらわれている。

地域開発の動きは、戦後復興の一翼としての資源開発主義—工業開発主義—地域格差是正主義と変わってきただが、わが国の経済は東京・大阪を中心とする資本・労働・技術等の諸資源の集中・集積を通じて発展してきたもので、これらの都市には道路・港湾・鉄道・上下水等の公共施設、工業生産機能・運輸・通信等の流通中枢機能、行政・文化・教育等の諸機能の集積と、それを利用する諸企業が相互に関連しあい累積的集中拡大を促進してきたものである。

企業が適度に集中することはその採算を有利にし、社会資本の効率を高め、国民経済全体の成長を促進するが、利用すべき外部経済の集積の拡大以上に企業が密集すると、集積の利益が薄くなり、逆に密集の弊害を生じ、他の地域では外部経済の集積を阻害し、それが相乗して経済活動をにぶくし、都市化・工業化の停滞をもたらすことになり、地域格差問題をひき起こす結果になっている。しかし過度集中の弊害は、とかく公共施設の立遅れという形で非難され、今は交通・用水・衛生等々の広範囲にわたってぼう大な費用を支出しなければならないことになる。企業はコマーシャル・ベースの下にある地域に立地が望ましいと考えても、それにともなう公共投資などのいわゆる社会資本が他の地域と比較して割高になる場合が多い。一企業の商業ベースだけではなく、社会資本も考えたときに、既開発地域の再開発が有利かどうかを考えるべきである。

単純に都市過大化を防ぎ、地域格差を縮少するには工業の分散が第一である。それには長期的視野に立って、国民経済全体から開発効果を最大にするよう配慮されなければならない。いたずらに工業を全国的に分散する努力は、民間資本にとっても社会資本にとってもその効果を損なう結果になりかねない。その対策に拠点開発方式の意味が生えてくる。大規模開発拠点を設定し、それに機能的に有機的連携を持つ、中規模・小規模開発拠点を配置し、交通・通信施設等社会資本の充実と相まって、波及効果を最大にすべきである。日本地図を拡げて、中部圏・阪神圏・北九州圏・京浜圏等を眺めれば、その構図もあり方もまた新産・工特地域の無意味さも了解できよう。

\* 正会員 工博 日本大学教授

合理的地域開発の促進のためには公共投資に先行性をもたせることが必要で、産業基盤整備、文教施設・生活環境施設等の整備とともに、財政上の助成措置、長期融資等の財政金融上の措置、労動力移動の円滑化、人間能力開発のための諸政策が必要になってくる。このような積極限定地域政策が強行できなければ、20年後に予想される政府投資の国民所得に占める割合が10%程度では民間消費55%，民間投資25%にはおよびもつかず、政府投資で人口移動を誘導したり、調節することも不可能に近くなるであろう。

この点現実の動きは、各府県が地域格差問題をかけて、政治家を動かし、新産都市と拠点開発構想とが必ずしも明確な意義づけもできずに、地域開発の本命は新産都市建設であるかのごとくに暴走してしまって、ベルト地帯構想は霧散してしまった。地域開発の科学的総合的構図を十分に見きわめ、国土の将来像をはっきり描き出し、地域の特性に応じて工業開発、農業開発、地方拠点都市開発等段階的整備を行なうべきである。

公共投資は、造ればよいのではない。技術と経済の有機的結合を十分考え、効率性を高めるという視点を忘れてはならない。東京も大阪も、終戦直後の千載一遇の時機を失して今や四苦八苦している。中部地域にならぶ機会はもうないであろう。特に道路建設は国民総生産の2%以上、行政投資の30%以上にもあたる。従来のい路意識と交通量主義の下における投資は、地域的経済力の集中をますます強化する方向に作用している。長期的経済規模拡大の将来性をみつめ、合理主義に徹しないと非効率的投資になりかねない。その打解策が高速道路政策として芽を出してきたものとみるべきであろう。農業投資にしても特性ある農業経済圏の形成に努力すべきであり、鉄道・港湾等の輸送投資にしても、特に港湾投資については、現在わが国の世界経済に立向っている立場を考え、長期、滞滞性によって自らの首を締めている状況から一日も早く脱脚するような集中投資にふみきるべきである。

いずれにせよ、全国開発計画がもっと強力な姿勢を示し、それに対応して公共投資が有機的・重点的に配分されることなしに、日本経済が世界経済の中で優位性を確保することはきわめて困難であることを厳しく認識することが必要であると考えられる。1億の人間が、豊かで幸福な社会生活を営むことが目標である。この目標がかすんではならないのである。